

令和4年11月30日（水）に町内会役員を対象とした「町内会活性化講座（テーマ編）」を開催しました。講座には17名の方にご参加いただき、「地域住民にしっかり届く町内会の情報発信と町内会運営における情報共有」について講義を聴いたのち、グループに分かれてワークショップを行いました。

《開催概要》

日時：令和4年11月30日（水）10:00～12:00

場所：仙台市役所上杉分庁舎2階会議室

参加者：17名

内容：講義／ワークショップ／発表・まとめ

■ 講義

講師の(株)Glocal Design 橋口奈央氏から、町内会における効果的な情報発信のポイントや、世代別の受け取りやすい情報ツール、他町内会のチラシの作成例などの話題提供が行われました。

■ ワークショップ

ワークショップでは、4グループに分かれ、実際にLINEグループをつくることや、LINE公式アカウントを登録してメッセージを受信する体験をしました。さらに「LINEグループを運用する際のルール」と「多くの会員にデジタルツールを使ってもらうための工夫・サポート」をテーマに、グループごとにアイデアを出し合いました。

※グループごとの意見やアイデアは裏面をご覧ください。

ワークショップ全体のまとめ

LINEグループの運用ルール

● 時間や言葉遣いに気をつける

- ・ 言葉遣いに気をつける
- ・ 至急事項以外、深夜・早朝にメッセージを発信しない
- ・ 発信時間を限定する
- ・ 個人を特定するような言葉・攻撃する内容は避ける

● 発信内容を取り決める

- ・ 当人同士にしか分からない話題をしない
- ・ 個人的な連絡をしない
- ・ みんなに知らせてはいけないことは発信しない
- ・ 発信内容を限定する
- ・ 簡潔明瞭な内容にする

デジタルツールを使う工夫・サポート

● 若い世代の力を借りる

- ・ 会員の中からスマホの使い方を教えてくれるサポーターやボランティアを選任する
- ・ 集会所でスマホの専門的知識のある人に教えてもらう
- ・ デジタルツールの活用に詳しい人を募集する
- ・ 町内の若い世代に教えてもらう
- ・ 近くの大学生に講師になってもらう

● デジタルを活用してメリットをPRする

- ・ デジタル回覧板にくじ引き商品をつける
- ・ 役員会の報告などをする
- ・ 災害・犯罪などの出来事を周知する
- ・ 簡単・便利に利用できることをPRする
- ・ イベントの記念写真を送る

グループごとの意見・アイデア

LINEグループの運用ルールでは、メッセージを発信する際に時間帯や言葉遣いを気をつけるといったことや、LINEには詳細部分まで載せず簡潔な文章のみとするといった意見が出されました。また、デジタルツールを使う工夫やサポートでは、デジタルツールに詳しい町内の若い世代に教えてもらうなど導入や運用面のサポートに対する意見、イベントの記念写真の送付、くじ引きで商品をつけるなどデジタルツールを活かしたアイデアが出されました。

グループA

【LINEグループの運用ルール】

- 当人同士にしか分からない話題をしない
- 相手の言葉遣いを気にしないようにする
- 既読をあまり気にしない
- 発信内容や発信時間は限定する
- 簡潔明瞭な内容にする

【デジタルツールを使う工夫・サポート】

- デジタル回覧板にくじ引き商品をつける
- 会員の中から、スマホの使い方を教えてくれるサポーターやボランティアを選任する

グループB

【LINEグループの運用ルール】

- 全員の共通認識をまず取り決める
- 個人的な連絡をしない
- LINEをチェックできない方に連絡する
- みんなに知らせてはいけないことは発信しない

【デジタルツールを使う工夫・サポート】

- 集会所でスマホの専門的知識のある人に教えてもらう
- 高齢者が多いため、若者に聞く
- 近くの大学生に講師になってもらう

グループC

【LINEグループの運用ルール】

- 簡潔な文章にする
- 連絡事項の日付は曜日まで入れる
- 必ず返事をする
- 時間や言葉に気をつける
- スタンプの使用有無を取り決める
- 詳しい説明は別途お知らせする

【デジタルツールを使う工夫・サポート】

- 役員会の報告などをする
- 災害・犯罪などの出来事を周知する
- 最初は少人数の役員でLINE交換する
- デジタルツールの活用に詳しい人を募集する

グループD

【LINEグループの運用ルール】

- 言葉遣いに気をつける
- 至急事項以外、深夜・早朝にメッセージを発信しない
- 個人を特定するような言葉・攻撃する内容は避ける
- 締め切りの迫った投稿はやめる

【デジタルツールを使う工夫・サポート】

- 簡単・便利に利用できることをPRする
- イベントの記念写真を送る
- みんなが安心して利用できるルールづくりをする
- 町内の若い世代に教えてもらう

